

新型コロナウイルス感染症に関する対応について

新型コロナウイルス感染症対策といたしまして営業店に「融資相談窓口」を設置し、影響を受けている中小企業・小規模事業者の皆さまのため、茨城県信用保証協会等と連携して支援に取り組んでいます。お客さまの要望に迅速にお応えするため、5月の連休には休日相談窓

口を設置し、資金繰りの相談等を実施いたしました。なお、ご相談については、お近くの営業店へご連絡ください。

また、茨城県が実施する「茨城県新型コロナウイルス感染症対策医療従事者応援金」の内容に賛同し、茨城県に対し応援金を寄付いたしました。当組合および関連

会社の役員からも寄付金を募り、公益財団法人 茨城新聞文化福祉事業団「コロナに負けるな地域応援募金」へ寄託いたしました。

今後も、中小企業・小規模事業者の皆さまへの円滑な資金供給や本業支援に、全力で取り組んでまいります。



けんしんの経営情報

KENSHIN MINI DISCLOSURE 2020.3

令和2年3月期



茨城県立カシマサッカースタジアム(鹿嶋市) photo:pixta

70周年記念商品

創立70周年記念キャンペーンを実施中です

けんしんは、令和2年11月25日をもって創立70周年を迎えます。これまでのご支援に心より感謝申し上げますとともに、これからも末永くお取引を続けていただけますようお願いいたします。

・ありがとう70周年記念 定期預金

・ありがとう70周年記念 退職金定期預金

・ありがとう70周年記念 年金キャンペーン

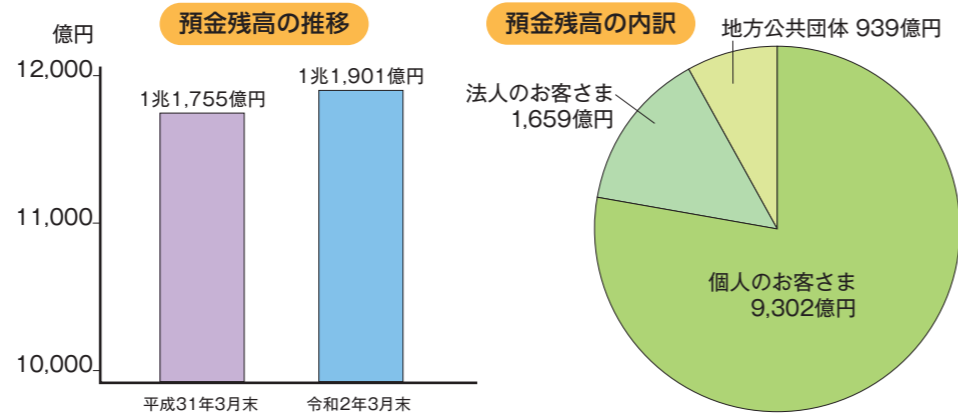
当商品に関する諸条件など詳しくは、お近くの各支店・ローン相談室までお問い合わせください。

令和2年6月1日現在

けんしんの令和2年3月期経営指標

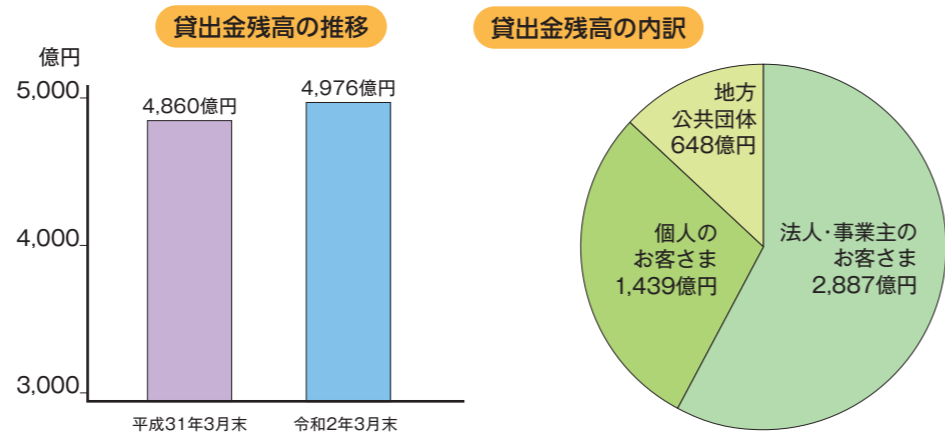
預金の状況

預金は、信用のバロメーターであり、茨城県内の幅広いお客さまからお預けいただいたことにより、前期比146億円増加し1兆1,901億円となりました。



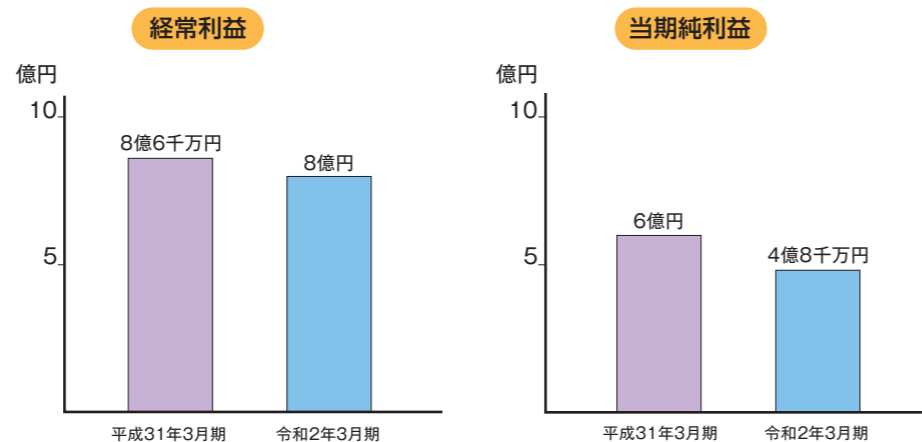
貸出金の状況

貸出金は、地元茨城の中小企業・小規模事業者や個人のお客さまの資金ニーズに積極的にお応えした結果、前期比115億円増加し4,976億円となりました。



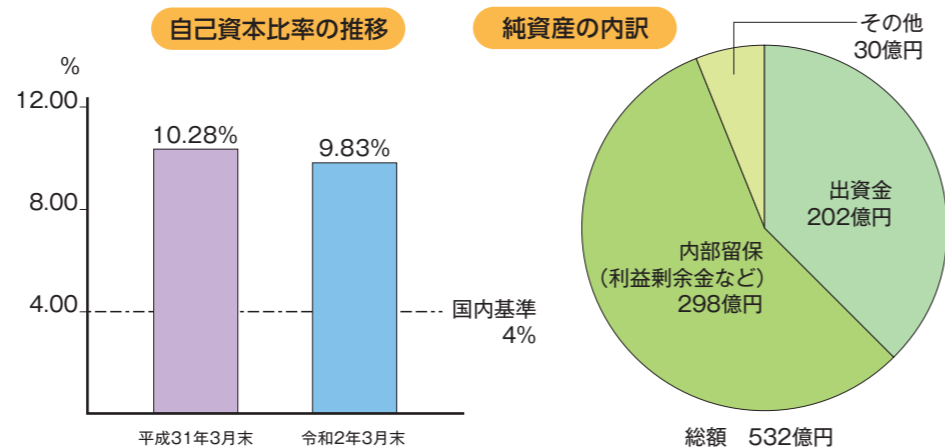
損益の状況

中小企業・小規模事業者や個人のお客さまへの融資に積極的に取り組んだことにより貸出金利息は増加しましたが、一方で与信費用が増加したことなどから、経常利益は8億円、当期純利益は4億8千万円となりました。



自己資本比率の状況と純資産の内訳

自己資本比率は、企業の総資産に対する自己資本(出資金、積立金など)の割合で、金融機関の健全性、安全性を判断する重要な指標です。けんしんの自己資本比率は9.83%と、国内基準の4%、国際基準の8%を上回っています。



有価証券の状況

有価証券の運用については、安全第一の運用方針のもと分散投資を行い、長期的で安定的な収益確保を目指しています。貸借対照表に影響のある「**その他有価証券**」は、41億8千万円の含み益を計上しています。

単位：百万円

区分	令和2年3月末					
	貸借対照表計上額	時価	含み損益	平成31年3月末比	含み益	含み損
満期保有目的の債券	30,019	27,493	△ 2,526	△ 2,034	83	2,609
国債	15	15	0	0	0	-
地方債	3	3	0	0	0	-
社債	1,000	991	△ 8	27	-	8
その他	29,000	26,482	△ 2,517	△ 2,062	83	2,600

単位：百万円

区分	令和2年3月末					
	貸借対照表計上額	取得原価	含み損益	平成31年3月末比	含み益	含み損
その他有価証券	384,045	379,865	4,180	△ 6,191	6,154	1,973
株式	1,268	985	283	△ 43	283	-
債券	363,445	358,578	4,866	△ 5,125	5,802	935
国債	22,915	22,252	663	△ 260	663	-
地方債	65,691	63,775	1,915	△ 711	1,916	0
社債	274,838	272,551	2,287	△ 4,152	3,223	935
その他	19,331	20,301	△ 969	△ 1,022	68	1,038
子会社及び関連会社株式	986	986	-	-	-	-

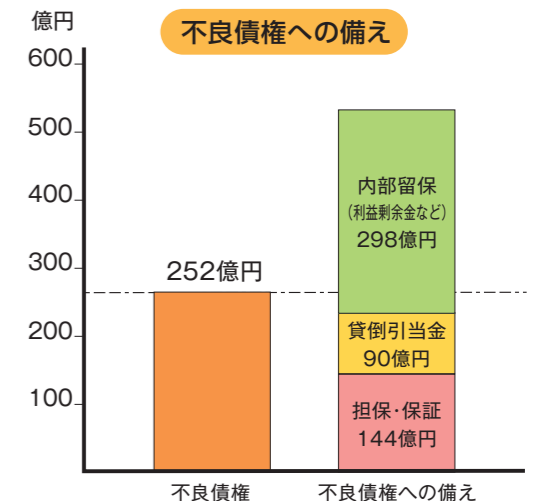
①金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。
 ②残高表示は、残高が全くない場合は「-」表示、表示単位未満の残高がある場合は「0」表示しています。
 ③「満期保有目的の債券」の貸借対照表計上額は取得原価を計上しています。
 「その他有価証券」の貸借対照表計上額のうち、時価のあるものは市場価格等に基づく時価を、時価のないものは取得原価に基づいて計上しています。

金融再生法に基づく開示債権及び同債権に対する保全の状況

令和2年3月末は4億5千万円の部分直接償却を実施しています。また、不良債権計に対する保全率は92.74%となっています。

単位：百万円

区分	平成31年3月末	令和2年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	13,504	13,660
危険債権	9,685	7,611
要管理債権	4,047	4,026
不良債権計 (A)	27,236	25,299
正常債権	459,832	473,295
合計	487,069	498,594
担保・保証等 (B)	15,089	14,434
貸倒引当金 (C)	9,639	9,030
保全額合計 (D)=(B)+(C)	24,729	23,464
担保・保証等、引当金による保全率 (D)/(A)	90.79%	92.74%
貸倒引当金引当率 (C)/(A-B)	79.35%	83.11%



■金融再生法に基づく開示債権及び同債権に対する保全額の注記
 ①「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
 ②「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。
 ③「要管理債権」とは、「3ヶ月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する債権です。
 ④「正常債権」とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外の債権です。
 ⑤「担保・保証等(B)」は、「不良債権計(A)」における自己査定に基づいて計算した担保の処分可能見込額及び保証による回収が可能と認められる額の合計です。
 ⑥「貸倒引当金(C)」は、「正常債権」に対する一般貸倒引当金を控除した貸倒引当金です。

※金額は、単位未満を切り捨てて表示しているため、記載金額の合計と表中の合計欄の金額が一致しない場合があります。